

シー・エス
C・Sみやいけ

E-mail:info@miyaike-e.ed.jp



今日から3学期

あけましておめでとうございます ~今日から3学期スタート~



宮池小の初日の出

この写真は、令和2年元日の宮池小の初日の出です(校長先生の撮影)。穏やかな日の出とともに、令和2年の幕開けです。いい年にしたいと思います。

「一富士・二鷹・三茄子」の初夢はなかなか見ることはできませんが、目をしっかり見開いて富士山のような大きな夢を見つけ、その夢を鷹のように力強く掴み取る！そんな気持ちで、一日一日を元

気いっぱい、笑顔いっぱい、優しさいっぱいに生きることが夢の実現をなし(茄子)とげることにつながると信じます。

大晦日の白山神社で、新しい年が明けたその時、宮池小の子を見かけました。午前零時を回り、さぞかし眠かろうと思いますが、ご家族と一緒に神妙に柏手を打ち、頭を下げて祈っている姿を見て、今年がんばりたい目標を報告し、その実行を誓っているのだろうと、勝手に思いを巡らしました。

令和元年度の締めくくりと、新年度への新たな夢や希望を少しずつ膨らませていく3学期がスタートしました。すべての子どもや保護者の皆さん、先生方、地域の方々にとっても、実り多い日々であってほしいと願います。

コミュニティ・スクールの使命

半田市は、子どもの夢を応援する「キャリア教育(生き方教育)」を教育施策のバックボーンにしています。すべての子どもたちが、一度きりのかけがえのない人生を自分らしくよりよく生きていってほしいとの思いによるものです。

そのために必要な力を「キャリアA B C D」(Action(課題に立ち向かう力)、Believe(自分を信じる力)、Communication(人とかわる力)、Dream(夢を追い求める力)とネーミングし、日々の教育活動に取り組んでいます。

これらの力を育むためには、学校と家庭と地域社会が連携・協力することが不可欠であり、その使命を担うのがコミュニティ・スクールです。

「学びの場」は教室だけではありません。家庭や地域全体が学びの場であってこそ、子どもたちは大切な人生をよりよく生きていくための力を身に付けることができます。

コミュニティ・スクールとして取り組みたいこと

これからの宮小コミュニティ・スクールが取り組むべき方向性について、これまで3回の「CSサロン学習会」で話し合ってきました。半田市社会福祉協議会や半田市教育委員会、民生児童委員協議会からも講師として出席していただきました。社会福祉協議会の前山憲一事務局次長さんには、毎回ご出席いただき、貴重なアドバイスをしていただきました。



CSサロン学習会

こうした学習会の中で、何らかの支援を必要とする子どもや保護者、時には先生方へのサポートなど、個々に寄り添う取組が求められているということを学びました。例えば、現在、半田市社会福祉協議会が推進する「半田市地域福祉計画」の「住民参加による地域福祉活動」の一環として、関係機関と連携して、個別の支援を必要とする人たちのサポート体制が整えられたらいいなあと感じました。

具体的な例として、次のような取組が考えられます。

- ① 不登校をはじめとする多様な支援を必要とするケースに対応する「宮池小子どもサポート会議」(仮称)の設置
- ② 子育て上の悩みや困りごとがある保護者が気軽に相談できる「子ども何でも相談窓口」(仮称)や、保護者同士が何でも気軽に話し合える「子育ておしゃべり会」(仮称)の開設
- ③ 教室へ入りづらい子に教室以外の居場所(学校外も含む)をつくり、話し相手になったり、個別に勉強を見てあげられるような体制づくり
- ④ 様々な家庭環境に伴う学習支援や子ども食堂など

これらは、現時点では、「あったらいいなあ、できたらいいなあ」という段階です。今後、学校・学校運営協議会・PTA・宮池小応援団・社会福祉協議会・教育委員会などの関係機関と話し合っていきます。

子どもたちや家庭、地域を取り巻く昨今の状況は、不登校や貧困問題など、個別の支援を必要とするケースが増加しています。また、義務教育を終えても、就学も就職もしない若者の増加も大きな社会問題になっています。子育てに対する負担感や不安を抱えている親、人と人とのつながりが希薄化してきている地域社会など、家庭や地域の現状に目を向ける必要性も指摘されています。こうした状況に対する問題意識を持つ人たちはたくさんいますが、「何をすればいいのかわからない」というのが現状です。今こそ、何らかのAction(課題に立ち向かう力)を起こすことが求められています。

誰もが、一度きりの人生をよりよく生きていける、安心して子育てできる、少しでも誰かの役に立てることに生きがいを感じる・・・そんな環境づくりの一端を担うことがコミュニティ・スクールの使命なのではないかと思えます。みんなで、希望に満ちた充実の年にしていきましょう。

ご意見をお聞かせいただければ幸いです。